



# 北方領土

平成31年3月(第9号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

## 福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

### 平成30年度北方領土に関する標語・キャッチコピーについて

(独)北方領土問題対策協会では、毎年、北方領土について広く国民に認識してもらい、北方領土返還要求の世論の喚起を促すため、標語・キャッチコピーを募集しています。

今年度の募集では昨年度を大きく上回る9,909作品の応募があり、選考の結果、以下のとおり入選作品が決定しました。作品は、今後、啓発用パンフレット等に活用されます。

**最優秀賞** 「返還へ 世代を越えて つなぐ声」 海老原 順子（茨城県桜川市）

**優秀賞** 「切り開け 新たな未来 しま返還」 岩本 彩瑛（岡山県岡山市）

「返還を 成し遂げ未来の 幕開けよ」 岡野 英介（神奈川県横浜市）

「返還へ 想いを繋げ 拓く未来」 春木 里奈（北海道札幌市）

「国民の 力で引き寄せ 四島(しま)の春」 梶浦 公靖（東京都豊島区）

**佳作** 「皆の希望 想いを乗せて 返還に」 松田 茜（福島県郡山市）ほか4名

### 北方四島教育関係者・青少年訪問事業【平成30年9月14日～17日】

本事業は、各島に在住するロシア人との交流を図ることで北方領土問題の解決促進に資することを目的としたもので、(独)北方領土問題対策協会の主催で実施されました。

訪問団は全国の教育関係者、青少年(中学生、高校生)を中心に総勢62名で編成され、本県から教育関係者として参加した渡辺 康弘校長(福島市立平野中学校)が団長を務め、択捉島を訪問しました。

団員たちは、日本人墓地の墓参、島内視察(博物館、水産加工場、紗那下町散策、孵化工場・採卵場、温泉施設)、ホームビジット、住民交流会などの視察や体験を通して相互理解を深めました。

(写真:(独)北方領土問題対策協会)



教育関係者とロシア人との茶話会

## 北方領土返還要求中央アピール行進【平成30年12月1日】

北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、東京都八重洲周辺においてアピール行進が実施されました。東京日本橋タワーで行われた出発式には、宮腰北方対策大臣らが出席し、参加者を激励するとともに、「我が国は、領土問題を解決して日露平和条約を締結するという一貫した基本方針の下、外交交渉を前進させていくこととしております。私も北方対策担当大臣として、引き続き外交交渉を後押しする国民世論の啓発に全力で取り組んでまいる所存です。」と決意を伝えました。

全国各地から約90団体、総勢500名を超える参加があり、国民の総意の証として全国47都道府県旗を一堂に集結し、「平和条約を締結し、日露の明るい未来を築こう！」などとシュプレヒコールを上げながら、熱意あふれる行進をしました。本県民会議からは5名が参加し、福島県旗を掲げて行進しました。



北方領土返還を呼びかけながら行進する参加者

## 北方領土パネル展【平成31年2月4日～7日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、2月4日～5日に県庁舎内連絡通路、2月6日～7日にコラッセふくしま(福島市)において「北方領土パネル展」を開催しました。

北方領土の歴史や自然などを紹介するパネルを展示したほか、パンフレットや啓発グッズ(ボールペン、クリアファイル等)を配布しました。

コラッセふくしま会場ではクイズラリーを実施し、参加者先着100名に北海道道東産の歯舞昆布をプレゼントしましたが、両日とも、お昼過ぎには用意していた昆布がなくなるほど、多くの方に来場していただきました。来場者からは、「(択捉島が)沖縄よりも大きいことに驚きました。自然の美しい島で、北方領土が返還されることを願っています」等の感想が寄せられました。



北方領土イメージキャラクターのエリカちゃん

## 北方領土返還要求全国大会【平成31年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。国立劇場で開催された本大会には、本県から5名（県関係者2名、県民会議3名）が参加しました。

出席した安倍内閣総理大臣からは、北方領土問題の解決に向けて次のとおり挨拶がありました。

「先月の首脳会談では、平和条約の問題について、プーチン大統領と2人だけで、じっくりと時間をかけて、胸襟を開いて話し合いました。その上で、2月中に次回の外相間の交渉を行うとともに、首脳特別代表間の交渉も行い、平和条約交渉を更に前進させるように指示をしました。戦後73年以上残された課題の解決は容易ではありません。しかし、私たちはこれをやり遂げなければなりません。皆様の北方領土への切実な思いをしっかりと胸に刻み、一步一步、着実に、領土問題の解決に取り組んでいく所存でございます。」

「6月の大阪G20サミットにプーチン大統領をお招きし、併せて首脳会談を行います。日本国民とロシア国民が、互いの信頼関係、友人としての関係を更に増進し、相互に受け入れ可能な解決策を見いだすための共同作業を力強く進め、領土問題を解決して、平和条約を締結するとの基本方針の下、交渉を進めてまいります。」

(写真: 首相官邸ホームページ)



挨拶する安倍総理大臣

## 北方領土返還運動全国強調月間【平成30年2月】

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。2月7日の「北方領土の日」を中心に全国各地で積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、福島市におけるパネル展、県内4市（福島、郡山、いわき、会津若松）の路線バスのフロントマスク啓発広告、県内主要駅（JR福島駅、郡山駅、会津若松駅、いわき駅、新白河駅）におけるポスターの掲示、福島交通飯坂線車内における中吊り広告などを実施して、運動への理解と参加を広く呼びかけました。

また、2月7日の「北方領土の日」を周知するために、2月6～7日には県内全域でラジオスポットCMを放送しました。

県内主要駅に掲示したポスターデザイン →  
平成30年度「北方領土の日」ポスターコンテスト  
(北海道庁主催) 最優秀賞受賞作品





# 平成30年度北方領土に関する全国スピーチコンテスト

【平成31年2月23日】



発表者たちの集合写真(前列左から2番目が澤口さん)

(写真提供: (独)北方領土問題対策協会)

このスピーチコンテストは、次代を担う若い世代(対象:中学生)が北方領土問題を身近な問題として捉え、この問題に関心を持ち、北方領土に関する歴史等を正しく理解することをねらいとし、より一層の北方領土教育の充実と強化を図ることを目的として、平成23年度から実施されています。

今年度は全国から6,095作品の応募があり、第1次・第2次選考(書面)を通過した応募者10名が、2月23日に東京都内で開催された最終選考会においてスピーチ発表を行い、審査委員の投票により内閣府特命担当大臣賞など各賞が決定されました。

本県からは鮫川村立鮫川中学校3年の澤口 琴音さんが最終選考会に出場し、「北方領土への願い」という題目でスピーチ発表し、奨励賞を受賞しました。澤口さんは、平成30年8月に行われた「北方領土青少年交流のつどい」(主管:秋田県北方領土返還促進協議会)に参加し、それをきっかけにコンテストに応募しています。澤口さんは、北方領土問題が解決に向かうためのロシアとの話し合いの必要性を述べ、現在、島に住んでいる人々の意見を聞くことの大切さを訴えました。

出場者たちは、皆、北方領土関連事業(現地視察事業、元島民の講話聴講等)の参加経験者です。若い世代がこうした機会から返還要求運動について考え、自分の言葉で表現することで周囲の人々に思いが伝わり、やがて大きな力になっていくことを願ってやみません。



スピーチする澤口さん

## 【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (福島県総務部県民広聴室内)

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」